

箱 根 山

○概況 (平成 18 年 10 月)

9月下旬(期間外)から10月中旬にかけて地震が一時的にやや多発しましたが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況

9月27日～28日(期間外)と10月2日～3日に、駒ヶ岳付近の浅い所を震源とする地震が一時的にやや多発しました。その後、10月7日～19日には駒ヶ岳北部の大涌谷付近の浅い所を震源とする地震が一時的に多発しました。最大地震は9月28日06時28分と10月2日05時36分に発生したマグニチュード¹⁾(M) 2.2(暫定値)で、震源に近い箱根町強羅や元箱根では身体に感じる揺れや地鳴りが何度かあったもようです。なお、神奈川県が設置した箱根町湯本の計測震度計では10月11日16時09分に発生した地震(M1.7(暫定値))により震度1を観測しました(図1)。

最近数年間では、2001年6月から12月にかけて駒ヶ岳付近の浅いところを震源とする活発な地震活動があり、その後も一時的な地震の多発を時々繰り返しています(図2)。

1) マグニチュード(M)は地震の規模を表します。資料中のMは暫定値で、後日変更することがあります。

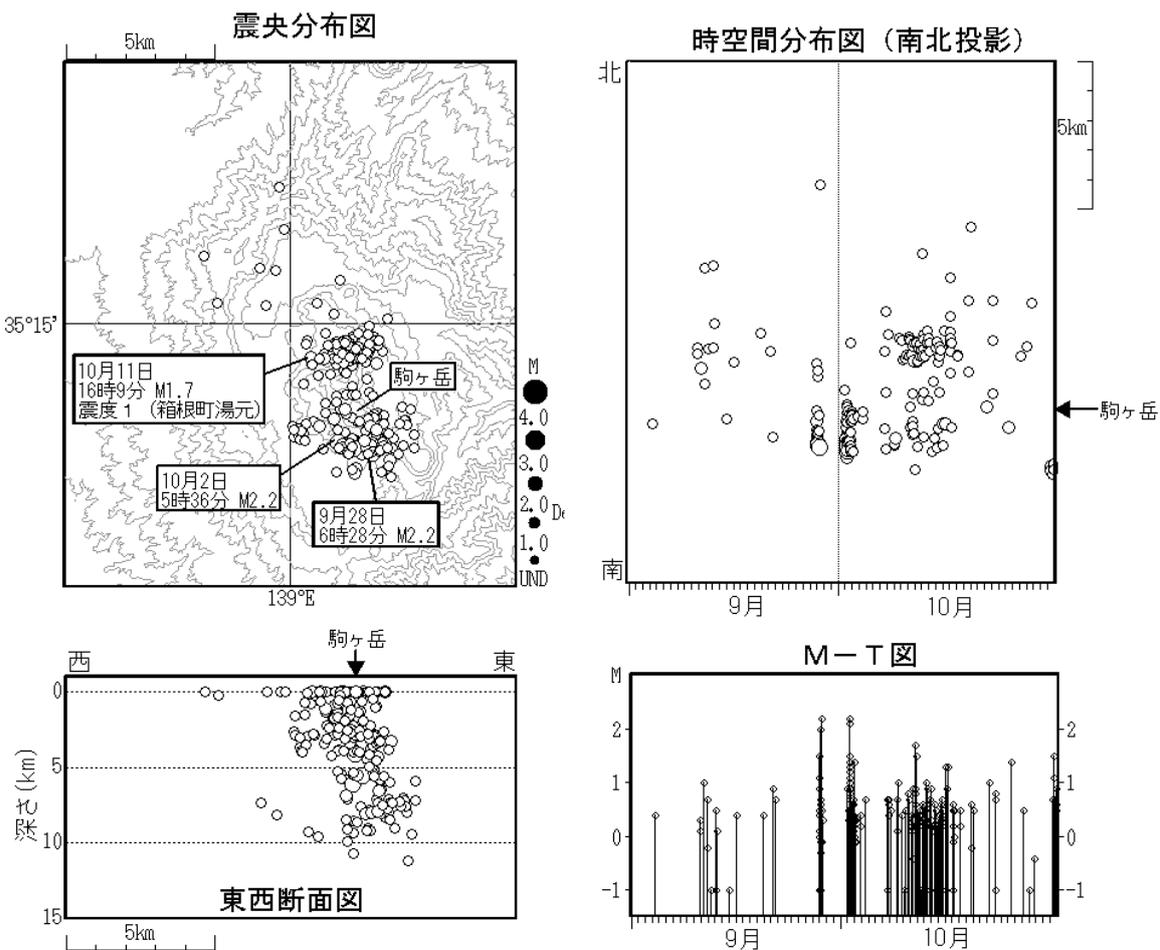


図1※ 地震活動経過 (2006年9月1日～10月31日、M¹⁾は暫定値)

※この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所および神奈川県温泉地学研究所のデータ等も利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

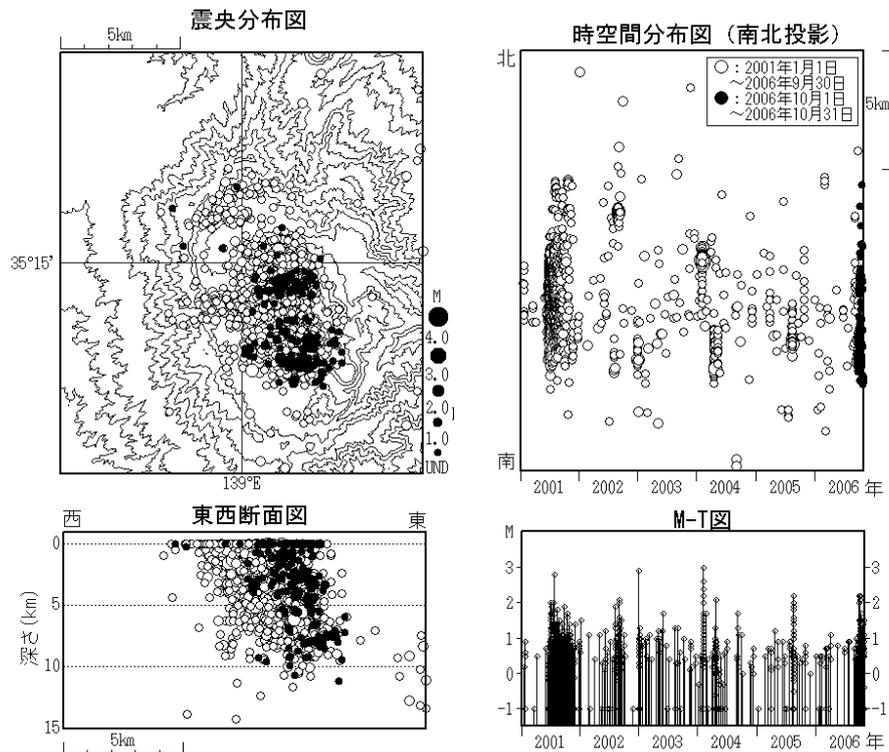


図 2 ※ 地震活動経過 (2001 年 1 月 1 日~2006 年 10 月 31 日、 M^1 は暫定値)

○地殻変動の状況

気象庁が湯河原に設置している体積歪 (ひずみ)³⁾計や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計⁴⁾などによる地殻変動観測では、特段の変化は観測されませんでした。

- 3) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により、山体が膨張・収縮した場合に変化が観測されることがある。

○観測点情報

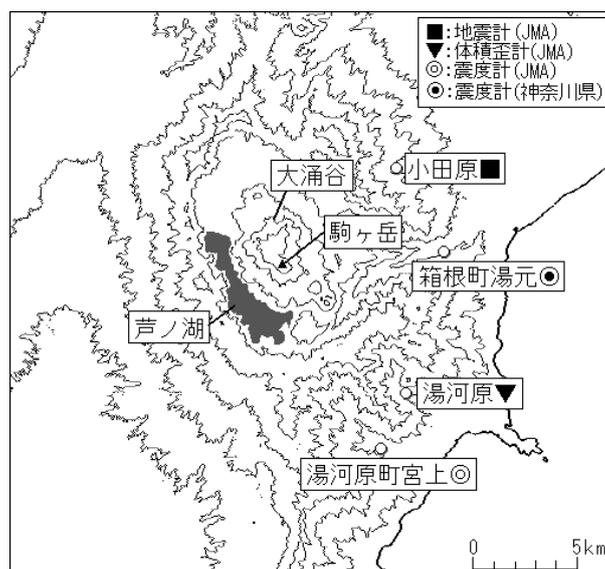


図 3 箱根周辺の気象庁観測点

注) 震度観測点には神奈川県の観測点 (箱根町湯本) も含めてある

○噴気活動の状況

19日に実施した観測では、大涌谷及びその周辺における噴気などの表面現象や地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした(図4、図5)。



図4 箱根山 大涌谷全景(上段:2006年10月19日 下段:2005年2月10日)

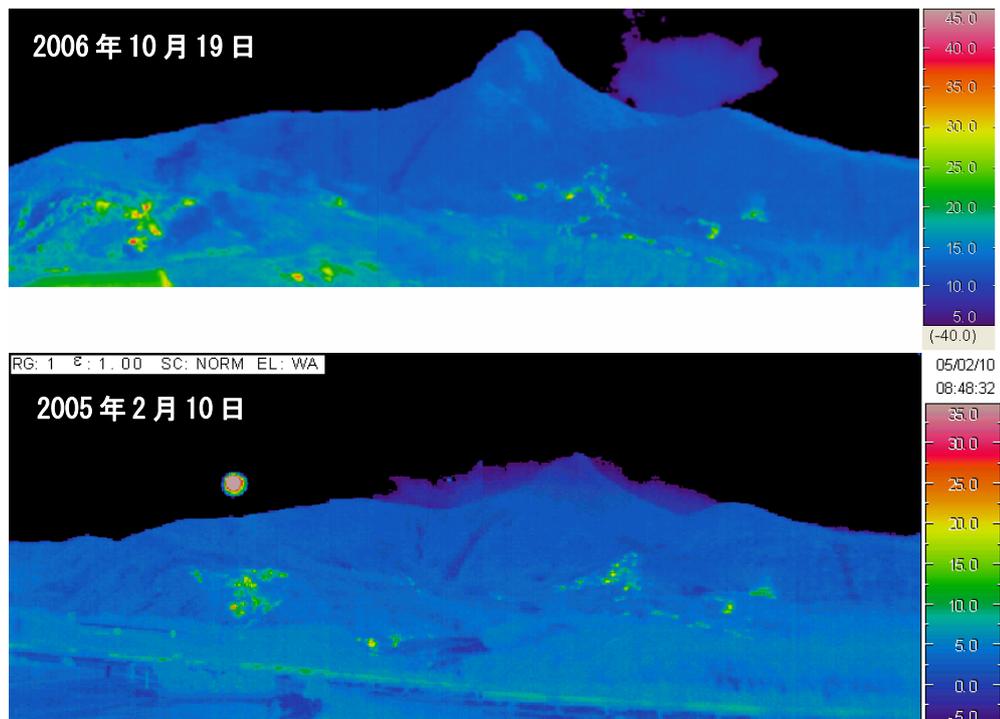


図5 箱根山 赤外熱映像装置²⁾で観測した大涌谷全体の地表面温度分布

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。